

大阪から1ターン あこがれの漁師を目指して

研修を受けながら
定置網漁の
技術を習得
しています



漁業研修暦2年
五島市 岐宿町
五島漁業協同組合
村上翔太さん26歳

村上さんは、大阪府の出身です。幼いころから釣りが好きで、漁師へのあこがれがありました。地元の高校を卒業したのち、飲食関係の仕事に従事していましたが、二十三歳の時に漁師として働く夢を叶えようと決心し、漁業研修を五島市の福江島で開始しました。研修は、定置網漁師の弟子として、時には厳しく指導を受けながらも、家族のように受け入れてくれる環境に段々と地域になじんでいる実感があるそうです。昨年からは、五島に奥さんを迎え、家族団らんの時間も増えました。来年4月に研修期間を終える予定で、現在は島を代表する漁業者を目指して日々頑張っています。

村上さんの一日



経歴
18歳 高校卒業後、地元で就職
大阪の高校を卒業後、地元で飲食関係の仕事に従事。
23歳 漁師になるために五島に移住
県の研修制度を利用し、定置網業者に弟子入り。

定置網漁の操業の様子

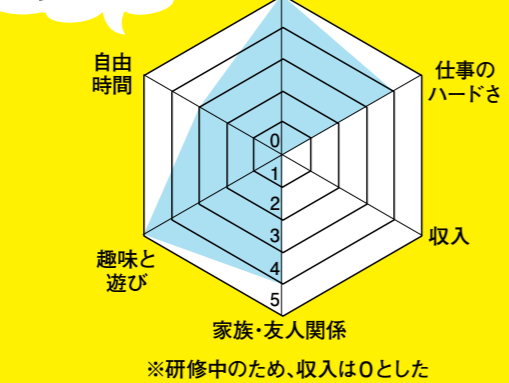
網の手繰り寄せ
漁獲物取り上げ
軽トラで集荷施設へ運搬
箱詰め作業

漁業以外の活動の様子



村上さんが住んでいる岐宿地区は、福江島の市街地から車で20分程度離れた漁村です。五島市の漁村はどれも高齢化が著しく、岐宿地区での同年代の友人は少ないですが、地元の機焼け対策活動に参加してU-2駆除を手伝ったり、五島市内の漁業者で取り組んでいる魚の神経締め研究会に参加することで、地域の住民や、他地区の漁業者との交流ができ、漁業以外にも充実した生活を送っています。

村上さんの本音チャート



師匠の声

五島に来た当初は続けられるか心配だったけど、今では毎日真剣に漁に取り組んでいて、将来も頑張ってくれるだろうと期待している。色々悩むことや不便なことも多い場所だと思うが、困ったときは周りに相談してくればと思う。

漁業就業を目指す方へ

休みを取りにくいことや、危険が伴うことなど大変な部分も多いですが、やりがいも多い仕事です。一緒に切磋琢磨して五島の漁業を盛り上げる若手がたくさん来てくれればいいと思います。

消防士から漁師へ方向転換 自分自身のレベルアップへ

ブリや
マグロの
養殖業に従事
しています



漁業暦1年
新上五島町 神部
神部漁業協同組合 (株)宝生水産
佐々木将太さん27歳

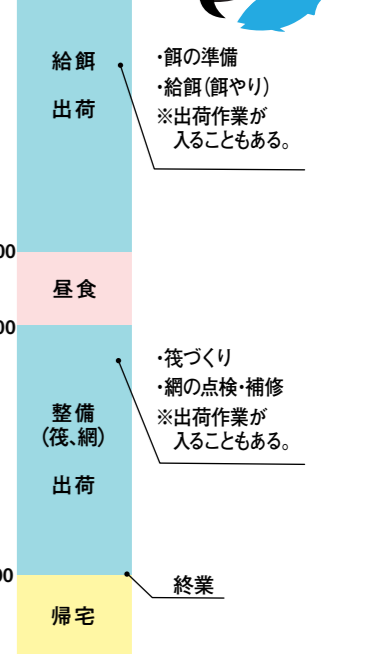
佐々木さんは、地元の新上五島町出身で、高校卒業後に島外の公務員専門学校に入学し、消防士を目指しました。その結果、見事、試験を突破し消防士への道へ進みました。7年間の消防士生活では、日々の訓練や人命救助法を学びながら、心身ともに大きく成長し、人生形成において大変有益な時間を過ごしたそうです。そのような中、幼いころから面識があった現社長に再会し、養殖という仕事に関する話を聞いたり、体験をさせてもらう機会もあり、徐々にその魅力に引き込まれていったそうです。そして、「消防士から漁師へ」と、大きく方向転換する判断を行い地元へ帰ってきました。決め手は、自分をもっと高いレベルの人間に成長させる可能性がある仕事と感じたからだと言っていました。決して消防士が嫌になった訳ではなく、養殖の方がより自分をレベルアップさせることができると判断したそうです。将来的には、養殖業の魅力を発信しながら地元を活性化できる人間になるのが夢とのことです。

経歴
18歳 消防士になるために高校卒業後、公務員専門学校に入学し消防士を目指す。
19歳 消防士として活動
公務員専門学校を卒業後、島外で消防士として勤務。
26歳 Uターンし漁師へ島へ戻り、ブリやマグロの養殖に従事

養殖業の操業の様子

餌の準備 フォークリフトで船に餌を積み込みます。
給餌作業 摂餌状況や泳ぎ方を観察しながら、魚の健康状態を把握します。
出荷作業 ブリの旬は冬場なので、雪が散らつく中での出荷作業も珍しくありません。

佐々木さんの一日

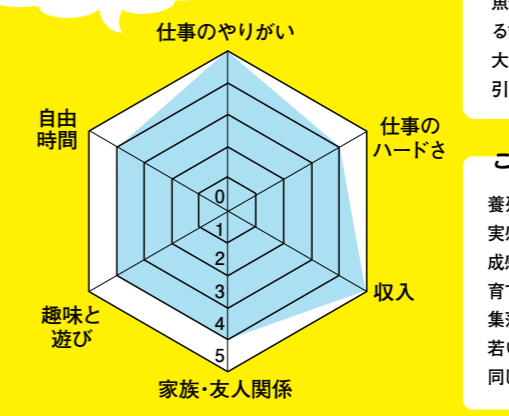


漁業以外の活動の様子



仕事が終わった後の晩酌が楽しみです。特に養殖網補修などの潜水作業後の一杯は格別です。きつい仕事ですが、これを目標に頑張られています(笑)。最近では、趣味のゴルフを上達させるための練習に休日は、励んでいます。先輩方とコースに出ても恥ずかしくないように頑張っています。やっぱり、ゴルフでも先輩方には負けたくないのでからね。

佐々木さんの本音チャート



先輩の声

魚任せのスケジュールで、大変な仕事だと思いますが、やる気を持って、積極的に飼育を行っており、今後の活躍に大変期待しています。将来的にリーダー格として会社を引っ張っていく存在になるだろうと楽しみにしています。

これから漁業を目指す方へ

養殖業は、小さかった魚が少しずつ成長していくことを日々実感しながら、出荷までたどりつけた時には大きな喜びと達成感が生まれる仕事です。仕事は大変ですが、思い通りの魚を育て出荷した時には、とんでもない充実感があります。集落では、高齢化や後継者不足を実感しており、私のような若い世代が集落を活性化させる必要性を感じています。同じような志の若い漁業者が増えていくことを望んでいます。

上五島に永住し、 漁業の発展に貢献したい!

ブリ・ヒラス等の
魚類養殖業
に従事して
います



漁業暦半年
上五島
神部
神部漁業協同組合
勝栄水産
福永隼也さん26歳

福永さんは、広島県福山市出身で、大学は教育学部で経済ゼミを専攻し、マーケティングについて学んできました。就業のきっかけは大学3年生の時。就職活動を行っていたところ、野球部の同級生だった勝栄水産社長のご家族から、上五島で養殖業に従事しないかとお誘いを受けたこと。見知らぬ土地での挑戦に2ヶ月ほど迷ったそうですが、実際に養殖の現場を見せてもらったことで養殖業に魅力を感じ、上五島で頑張っていこうと決意されたとのこと。「漁業はハードと聞いていたが、野球で培った持ち前の体力を活かし、カバーできた」と福永さん。現在は、仕事の大変さ以上に摂餌や魚病への対策など今まで知らなかったことを毎日吸収できることにやりがいを感じているとのこと。現在はヒラマサの給餌担当。6ヶ月を経過しましたが、まだまだわからない事が多く、これからも勉強していきたいと意欲的に従事されています。

経歴

- 18歳 高校卒業後、大学に進学
広島県内の高校を卒業し、大阪府内の大学に進学する。
- 25歳 勝栄水産との出会い
就職活動に悩んでいた頃、友人の紹介で社長と会って養殖業、特に漁業経営に強い関心を持つ。
- 25歳 養殖業に従事!
上五島に移住し、養殖業に従事することを決断。現在修行の真っ最中!

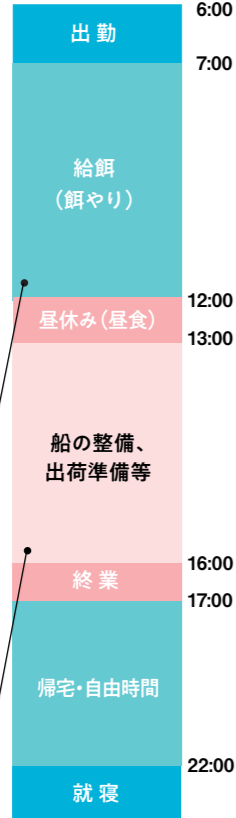
福永さんの一日

作業船に乗り込み、毎日魚の健康状態や摂餌の様子などを細かく確認しながら、その日の状態に合わせて臨機応変に餌を与えていきます。魚を育てるための重要な作業です。

大切に育てた魚を高鮮度に保つように丁寧に出荷します。写真はクロマグロの出荷の様子。

養殖魚を飼うための網の掃除など、整備作業も大事な作業です。

給餌・出荷作業



作業船(給餌、出荷作業に使用します)



クロマグロの出荷の様子



出荷作業



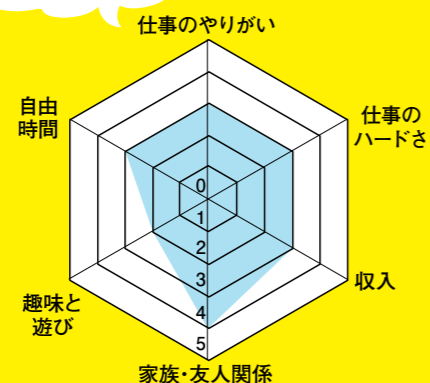
養殖魚を飼うための網の掃除

漁業以外の活動の様子



地元の野球チームに所属しており、職場の仲間とバーベキューをするなど交流も盛んに行われており、良好な関係を築いている様子でした。

福永さんの本音チャート



社長の声

自然や生き物を扱う事は簡単ではないが、自分で魚や環境を見ながら段取りを考え、動いていくととても面白い仕事。確かに体力的に大変な面も多いが、それ以上に自分が組んだ段取りどおりに仕事ができ、思い通りに魚を出荷できたときはとても充実感のある仕事です。

これから漁業を目指す方へ

現場での仕事なので体力的な疲労感はあるが、一次産業として生産を行うことは事務作業とは別の充実感があります。また、魚や海に関する知識は就業すると格段に増え、自分のステータスアップの一環であると捉えています。

福岡から壹岐にUターン

一本釣り
漁業と
採介漁業を
営んでいます



漁業暦1年
壹岐市
石田町
漁業協同組合
橋本宏和さん42歳

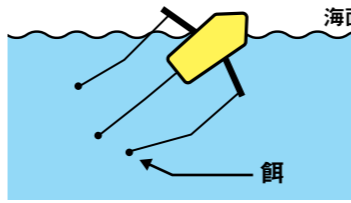
橋本さんは、専門学校を卒業後、福岡県内の病院で医療事務員として勤務していました。十年程前に壹岐に帰郷してからも、島内の病院に勤務していましたが、海に関わりながら生活していきたいと考えていた橋本さんは、三年前に一大決心し、漁師の道を志すことにしました。二年間、漁業就業実践研修で一本釣りなどの漁業技術を習得した後、一昨年末に漁船を購入して、漁業を開始しています。漁業を開始して間もないため、一日一日が勉強の日々だという橋本さん。今年からは、夏場に夜間のイカ釣り操業を開始することで、漁業生産を安定させる計画を持っており、今後の活躍が期待されます。

経歴

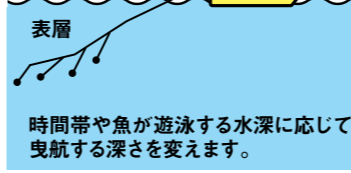
- 20歳 専門学校卒業。
医療事務職員として、福岡県内の病院に就職。
- 29歳 故郷の壹岐にUターン。
島内の病院に勤務。
- 38歳 幼い頃からの夢であった漁師をめざすため、漁業就業実践研修を開始。

サワラ釣り(曳縄)あれこれ

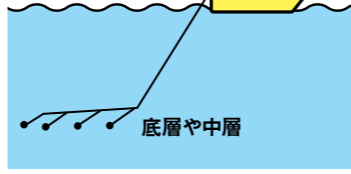
餌(サンマ)やルアーを引きながら航走



時間帯や魚が遊泳する水深に応じて曳航する深さを変えます。



底層や中層



サワラの鮮度管理
漁獲したサワラは活きぐ、血抜きを行い、大事に水温管理しています。

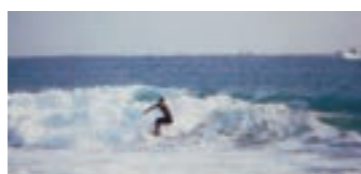
年間操業スケジュール	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
サワラ釣り	←→											←→
採介					←→							
イカ釣り						←→						
落としこみ									←→			

橋本さんの一日

サワラ釣り操業



漁業以外の活動の様子



サーフィンのポイントも多い壹岐。壹岐は、趣味のサーフィンや筋トレ、シーバス釣りも楽しむことができる環境です。

Real Voice

家族の声

安定した職業から、厳しい自然が相手となる漁業への転進には心配がある。しかし、本人のやる気を信じ、見守っていきたい。

これから漁業を目指す方へ

漁業は想像以上に厳しい環境で操業し、冬場の寒さなどつらいと思います。さらに、漁業資源も毎年変動しており、最近では磯焼けなどにより資源も減少していますので、相当の覚悟を持って漁業を目指してほしいです。私は、国や県の漁業研修制度や漁業開始支援を受け、漁業を開始できています。さらに、地域の先輩漁業者からたくさんの指導や支援を受けられる環境で、漁業を開始できたことには感謝しています。

周りの人に愛される、若い壱岐の海女ちゃん!

海女として素潜り漁とカキ養殖技術も学んでいます



漁業暦3年
壱岐東部漁業協同組合
河合春薫さん20歳

「子供の頃自分で潜ってタコを捕まえたのが忘れられません。」そう語る 兵庫県神戸市出身の河合さんは、子供の頃、家族との磯遊びをきっかけに海が好きになり、テレビで海女という職業を知り、この仕事をしてみたいと思ったそうです。高校在学中、海女の募集をしていた壱岐東部漁業協同組合へ連絡し、1週間の漁業体験を受けました。体験では、お世話になった人達から「ぜひ、壱岐においで」と言われ、壱岐の人の温かみを感じたそうです。翌年、家族の応援もあり、18歳で壱岐市に移住し、漁業就業研修を活用してウニ、アワビ、サザエの素潜り漁とカキ養殖技術の研修を受けています。お休みの日は、農業高校の経験をいかし、知り合いの農家さんの畑作業の手伝いをしており、将来は、半農半漁の生活も考えているそうです。すっかり壱岐に馴染んでいる河合さんの今後の活躍に期待しています。

経歴 高校 農業高校在学中、進路や将来に悩んでいた時、海に潜り、海女になりたいと強く思い、情報を集めた。壱岐市の漁業体験を受ける。
18歳 令和元年9月に壱岐に移住。漁業就業研修を活用し、素潜り漁、カキ養殖技術研修に取り組む。
20歳 現在も研修中(令和5年8月末まで)目標は、早く一人前になり、伝統である海女を壱岐に残すこと。

素潜り漁等の研修の様子

河合さんは年間のうち5ヶ月間を海女として素潜り漁の研修を受けていますが、1年を通じて海に関わる仕事だけで生活が成り立つよう、素潜り漁以外の期間はカキ養殖技術研修に励んでいます。



研修を受けるまで、カキがどうやって育てているか知らなかったそうです。海女が育てた、内海湾のマガキはとっても美味しい!!

初めは方言や地名、専門用語が中々覚えることができず大変だったそうです。以前は海に潜っても獲物の位置が分かりませんでした。先輩達に教わりながら獲物の集まる所が分かるようになってきました。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
素潜り漁					ムラサキウニ	アワビ、サザエ、アカウニ、ハフウウニ						
養殖		マガキ										マガキ

漁業以外の活動の様子

最近市内のバレ一部に入り練習に励んでいます。愛犬との散歩の時、「はるちゃん魚いるね?」と魚をいただくこともあり、魚もさばけるようになってきました。

Real Voice

これから漁業を目指す方へ
漁業は、人が生きるために必要な食べ物を、獲ったり、育てる素晴らしい仕事です。潜っている時間は、自分も生きてると実感できます。厳しいことより、楽しいことの方が多いです。



※素潜り漁はその日の潮の干満時間により操業時間が大きく変わります。掲載している1日のスケジュールは一例であり、昼頃から操業を開始する日もあるとのこと。

福岡からUターンした上対馬の延縄漁師

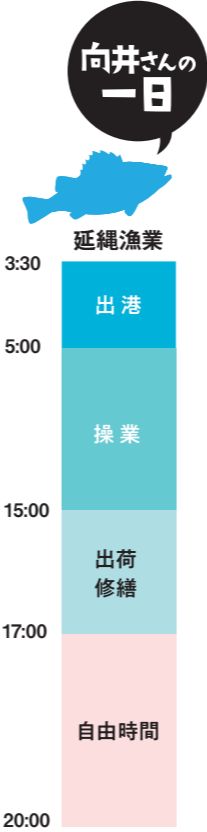
国境の島 対馬で延縄漁業を営んでいます



漁業暦18年
上対馬町漁業協同組合
向井拓也さん38歳

向井さんが所属している上対馬町漁協は、若手の漁師が多く、青壮年部の活動も盛んです。また、魚種が豊かで、アマダイ(紅王)やタチウオ(銀太)はブランド魚として流通しています。向井さんは、幼い頃から、漁師だった父の背中をみて育ち、高校卒業後に一度島を出ましたが、20歳のときにUターンして、漁師になることを決意。その後、父親の船に乗り込み、漁業技術を習得し、27歳で独立しました。当初は思うように漁獲することができませんでしたが、少しずつ水揚げが上がり、今では漁協の若手のエースとなっています。延縄の出港時間は日が昇る前で、夜明けとともに投縄するので、朝は早いです。日帰りで操業ができます。漁師の仕事は厳しいですが、自分の腕1本で実力勝負ができる世界は楽しいとのこと。また、対馬の漁師は横の繋がりが強く、いろんなことを先輩から教わります。島外から来られた方も安心して働くことができます。

経歴 18歳 高校卒業後、島外に進学。高校卒業後は、福岡県で専門学校に進学。
20歳 対馬にUターンし、漁師になることを決意。父親の船に乗り込み、漁業技術を習得。
27歳 父から独立し、一人で操業。



延縄漁業の様子

- <3:30出港> 港を出発します。
- <5:00> 漁場到着・操業開始
- <投縄開始> 道具を海中に仕掛けます。
- <揚縄開始> 針にかかった魚を取上げます。
- <15:00帰港・出荷・道具の修繕> 港に帰って直ぐに箱詰めをします。

延縄漁業の紹介
縄に多数の針をつけ、イカやサンマなどを餌として使用し、投縄したのち引き上げて漁獲する漁法です。

延縄漁業	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アカムツ												
アマダイ												
ヨコワ												
トラブリ												

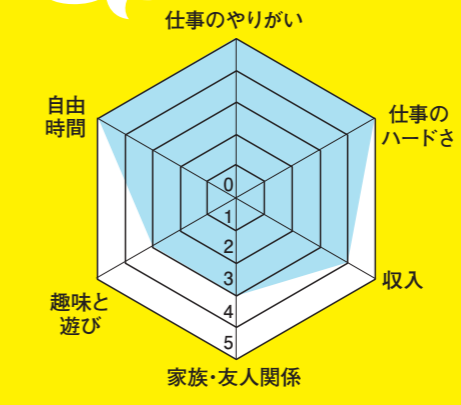
年に100日操業

漁業以外の活動の様子

青年漁業士に認定。漁業士会では水産振興、担い手対策等に取り組んでいます。

水産教室で小中学生に魚の捌き方を教えています。

向井さんの本音チャート



これから漁業を目指す方へ
「自分の船で、自分の腕で稼いで対馬で生きる!」
私が所属する古里漁組では島外からも新規就業者を受け入れています。漁組組織で受け入れることで、いろんな方から指導を受けることができます。また、漁師の仕事だけでなく、地域の行事にも積極的に参加する人を求めています。漁師は本人の覚悟次第ではやりがいのある仕事です。**漁業に就きたい方は離島で就業の検討を!**